

平成29年度 全国・学力学習状況調査の結果から

H29.10.30

春日井市立鳥居松小学校

※ 「☆」できている 「★」できていない

1 国語A (主として知識)

- ☆★「漢字によって読める、読めないがあった」
- ☆「俳句の情景を捉える」「手紙の構成を理解して、書く」

2 国語B (主として活用)

- ☆「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える」
- ☆「目的や意図に応じ、引用して書く」
- ☆「自分の考えを広げたり、深めたりするための発言の意図を捉える」
- ★「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」
- ★「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」

3 算数A (主として知識)

- ☆「具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している」
- ☆「高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している」
- ★「1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる」
- ★「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」

4 算数B (主として活用)

- ☆「示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる」
- ☆「飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる」
- ★「割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる」
- ★「身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる」

国語A・算数A

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題

国語B・算数B

- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題

5 学習や生活習慣についてのアンケート結果

① 全国・県よりも優れている

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起き、毎朝朝食を食べている児童が多い。
- ・ 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったと感じる」「自分にはよいところがあると思っている」児童が多い。
- ・ 友達と話し合うとき、「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」「友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができている」児童が多い。
- ・ 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童が多い。
- ・ 平日1日あたり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童は少ない。携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童が多い。また、携帯電話やスマートフォンを持っていない児童も多い。
- ・ 土曜日は家族と過ごしたり、家にいたりする児童が多い。
- ・ 家の人（兄弟姉妹は除く）は、授業参観や運動会などの学校行事に来てくれると答えた児童が多い。
- ・ 学校に行くのが楽しいと思う児童、友達に会うのは楽しいと思う児童、好きな授業がある児童は多い。
- ・ 「学校のきまりを守っている児童、友達との約束を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童は多い。
- ・ 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う児童が多い。
- ・ 今回の国語、算数の問題について、最後まで取り組もうとした児童は多い。
- ・ 「算数の勉強は大切だと思う」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」児童は多い。

② 全国・県よりも劣っている（顕著な事柄）

- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表することが苦手な児童が多い。
- ・ 「平日1日当たり1時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする」児童が多い。
- ・ 「平日、土日ともに、1日当たり1時間以上の勉強をする」「家で、計画を立てて勉強をしている」「新聞を読む」「学校図書館や地域の図書館行く」児童が少ない。
- ・ 「普段（月～金曜日）に、1日当たり1時間以上、テレビゲームをする」「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていない」児童は多い。
- ・ 家の人（兄弟姉妹は除く）と将来のことについて話す児童が少ない。
- ・ 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめることをする児童が少ない。
- ・ 「今、住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」児童が少ない。
- ・ 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う児童が少ない。
- ・ 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた児童は少ない。